

平成 28 年度 各郡市の研究活動報告（加茂市）

会 長 佐 藤 和 彦
評議員 佐 藤 和 彦

1 研究活動の方針

（1） 子どもや時代の課題から

加茂市の児童生徒の学力向上に向けて、会員相互の密接な連携の下、主体的・協働的な学びを究める実践に努め、会員の資質向上、授業力の向上を目指す。

（2） 地域の特性から

五つの中学校区が集まる加茂市では、177名の会員が教科と領域の二つの部会に所属し、小中連携の下に研究活動を推進する。

2 研究活動の実際

（1） 研究活動の組織について

総会、運営委員会（各校の教務主任）、理事会（各校の校長）、各教科・領域の正副部長会を設置し、各部会の活動・予算等について審議したり決定したりしている。

（2） 各組織の活動について

各教科・領域と養教、栄養職員、事務部会からなり、各部会に研修主題を設定し、授業研究に力を入れ、実技研修会、実技講習会、講演会、事例研究会等、多様な研修活動を実施している。

（3） 研究刊行物について

加茂市教育委員会の年1回発刊の「加茂市の学校教育」に、加茂市学校教育研究協議会の研究記録を載せている。

（4） その他

○教育講演会

平成 28 年 8 月 29 日（月） 14:00~16:00 会場：加茂文化会館

演題「学力向上」のためにできること

～全国学力・学習状況調査から見える付けたい力と Web 配信集計システムの活用～

講師 加茂市立若宮中学校 教頭 小 嶋 修 様

○先進校視察

次年度の研究発表校が先進校を視察し、自校の研究活動に役立てる。

3 加茂市小教研が関係した研究会

○加茂市教育委員会指定研究会

平成 28 年度 1 1 月 1 1 日（金） 会場：加茂市立若宮中学校

平成 28 年度 1 1 月 1 8 日（金） 会場：加茂市立須田小学校

平成28年度 各郡市の研究活動報告(南蒲・田上町)

会長 尾崎 章

副会長 原 秀栄智

1 研究活動の方針

(1) 子どもや時代の課題から

“田上の子は田上で育てる”という理念の下「田上の12か年教育」が策定され、その具現化に向けて会員相互の緊密な連携、主体的・協働的な研究実践を図る。

今年度2年目になる田上中学校区小中連携社会性育成推進実践研究指定の取組を通して「いじめ・不登校等の未然防止に向けた児童・生徒の社会性育成」を推進する。

(2) 地域の特性から

1中学校・2小学校という小さい規模を生かした部会構成により、今日的な学校課題の改善に小回りのきく組織・連携で取り組む。

2 研究活動の実際

(1) 研究活動の組織について

○総会、評議員会（各校の校長・教頭・教務主任・研究主任）、部長・副部長会を置き、年間計画に基づいて各事業について調整等を図る。

○全会員が所属する教科・領域のA部会とその他の分掌部会のB部会を構成し、研究活動を推進する。

(2) 各組織の活動について

A部会は、原則年間3回の研修の場を設定し、講演会や実技指導等の実施及び各校の研究授業公開を通して指導力の向上、指導計画の充実を図る。B部会は、必要に応じて適宜部会を設定し、多様な研究活動及び情報交換を実施する。

(3) 研究刊行物について

田上町教育研究協議会の委託事業として「田上の教育」（事業報告書）を発刊する。

(4) 幼・小・中の連携の推進について

田上町教育研究協議会として、幼・小・中の連携を強化するために、幼・小連携ではアプローチ及びスタートカリキュラムを作成し“小1プロブレム”の解消を目指している。小・中連携では、小・中学校協働で算数・数学と外国語活動・英語、理科の指導案や接続プランを作成し、授業改善に取り組んでいる。また、昨年度作成した小中9年間を見通した「学びのきまり」を生かして「学びのユニバーサルデザイン」の推進を図っている。

(5) その他

○夏季全体研修会（講演会）

期日：平成28年8月4日(木) 会場：田上町立田上中学校 武道場

演題：「困り感のある子どもたち」

講師：新潟市立教育相談センター 指導主事 佐藤 昇誠 様